

平成27年度 島田幼稚園 自己評価報告書

1. 学校の教育目標

【建学の精神】豊かな知性と誠実な心を持ち社会に貢献できる人材を育成する

【教育指針】愛情と誠実

【教育理念】園生活の中で目的を持って遊びや活動をしながら、思いやりや生きる力を身につける

【教育目標】

3歳：・基本的な生活習慣を知り、身の回りのことを自分でしようとする。

・自分の要求や感じたことを自分なりに表現する。

・歌や踊りを通して保育者や友達と親しむ。

4歳：・友達や保育者との関わりを深めながら、様々な活動やあそびを通して共通の目的を持ち、楽しく生活する。

5歳：・まわりの人や生き物との触れ合いを通して、相手の気持ちを考え、行動できるようになる。

・自主性・協調性を身につける中で、挑戦する気持ちや粘り強く遂げる力を養う。

・就学に向けて生活活動に取り組む。

【教育課程構成のための構造化】

・健康の習慣や態度を身につける(薄着・はだし保育)

・喜んで伸び伸びと表現し、感性を身につける(身体表現・造形表現・楽器表現)

・社会生活の習慣や態度に気づき、コミュニケーションが円滑にできる(友だち作り・基本的生活習慣)

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

・幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。

・園を取り巻く環境の変化に対応し、学園の中長期計画の前進と幼稚園が今後担う役割について明確にしていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
●教育課程・指導	B	<p>・建学の精神、教育課程(【教育指針】、【教育理念】、【教育目標】)に基づき、年間計画・月案・週案・日案を作成し、園児が段階的に成長できるよう努めている。また、各計画の内容を反映し、本園の特色でもある次の教育を実施している。</p> <p>①めざましあそび(教材)：自分と物、物と物の関係を、遊びを通して、体験的に覚えるよう実施</p> <p>②保育内水泳教室(年長児)：スイミングスクールの専任コーチによる指導を実施</p> <p>③保育内ふれあい英会話(全園児)：外国人の先生と、歌を歌ったり、ゲームを楽しみながら、英会話の指導の実施</p> <p>④保育内体育(全園児)：クラスごとに幼児専門の指導員が体育の指導を実施</p> <p>⑤はだしうすぎ(全園児)：裸足の生活で脳を鍛え、薄着でのびのび園生活を実施</p> <p>・行事では、日本の伝統、慣習を四季で感じられるよう「七夕祭り」、「餅つき」、「豆まき」等を取り入れている。</p>
●保健管理	B	<p>・歯科健診、内科健診を5月・6月で実施している。その他に毎月身体測定を実施し、園児の健康管理をするとともに成長管理も行っている。</p> <p>・感染症の感染を防ぐため、マニュアルの作成と年度初めに保護者に配付をし、マニュアルに沿った登園の徹底指導を行っている。</p>

平成27年度 島田幼稚園 自己評価報告書

●安全管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画に基づき、消防設備点検の実施(2回/年)、幼稚園という特性を踏まえた防災訓練(避難訓練、消火訓練、防災器具の取扱)を4回/年実施している。 また、防災用品についても、①AED ②非常食 ③非常水を備えている。 ・防犯対策として、二つある門のセキュリティー番号を定期的に変更し、外部からの不審者の立ち入りに備えている。
●特別支援教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援が必要なクラスの担任が、積極的に教育研究協議会に参加し、対応に関する事項を外部からの情報収集や研究を行い、対応を行っている。
●組織運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営を決定する機関として園長を中心とする管理職で運営委員会を設置し、月に1回以上実施をしている。運営委員会での決定事項は、毎日行われる終礼において、全教職員に周知するよう徹底がされている。 ・予算については、理事会で決定された事業計画大綱及び予算編成方針に基づき、園内において予算申請書を作成し、管理者において精査の上、法人事務局に提出する。その後、法人事務局との折衝の後、予算原案を作成し、3月末に開催される評議員会及び理事会の議を経て決定する。執行については、経理責任者が、学園規程に基づき、予算の範囲内で適切な処理を行う。 ・公認会計士(実地監査1回、書類監査1回)及び監事により実施している。 ・法人において「私立学校法」に定められた財務書類を学園規程に基づき、保護者等、その他利害関係者の請求に応じ、閲覧を供している。また、法人広報誌「Commu」に掲載するとともに、法人のホームページ上でも公開をしている。
●研修(資質向上の取り組み)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・綿密な計画をもとに個々の個性に合わせた新任者の育成を強化するとともに、管理職がバックアップをし、OJT教育と教育スタッフ(子育て経験豊富な補助教員)による細やかなサポートを行っている。 ・新任者は日案を作成し、管理者のチェックと指導を受け、毎日の準備と改善を徹底的に行っている。 ・学園においても、教員研修を実施し、他の姉妹校の授業見学や意見交換を行い、教員の資質向上を図っている。
●教育目標・学校評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを(2回/年)実施し、改善項目については、次年度の教育及び保育の改善に繋げるとともに、予算申請を行うなどの措置を行っている。
●情報公開	B	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の幼稚園・保育園等と比較が可能なように次の内容を情報開示し、事実を適切に分かりやすく伝えることに努めている。 ①開園時間、②学費、③日々の活動、④その他活動の内容・費用 ・毎月、「えんだより」及び「学年だより」、「クラスだより」を発行し、その月の園の連絡・周知事項を全員に配付している。また、「えんだより」の内容は、ホームページに公開し、広く情報を発信している。
●保護者・地域住民との連携	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者及び地域住民との連携を目的に次の取り組みを実施している。 ①園庭開放を6月から2月末までの期間(夏季休業期間除く)平日9時から12時において、園庭を一般開放している。 ②地域交流の一環として、「わくわくサークル(3～4回/月)」、「ハンドサークル(1回/月)」、「ハツラツサークル(1回/週)」のサークル活動も実施している。 ③保護者参観(3回/年)、敬老参観(1回/年)を実施し、保護者等へ教育・保育指導を理解してもらうよう努めている。6月以降は自由参観となり、保護者が自由に参観できるようにしている。 ④親子遠足(1回/年)を実施し、行事の中での親子との連携を図っている。 ⑤毎日の園務において、連絡帳、電話、登降園時の直接の伝達を密に行い、園児が毎日、「安全」に「安心」して、登園できるように努めている。
●子育て支援	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児教室として、わんぱくランド・きっずくらぶを実施し、未就園児の子どもと保護者の教育を考え合わせた適切な運営を行っている。 ①きっずくらぶ:週1回、年間25回を午前10時から11時15分で実施をしている。 ②わんぱくランド:在園児・卒園児の弟妹を対象とする子育て支援として、年間15回午前10時から11時15分で実施をしている。

平成27年度 島田幼稚園 自己評価報告書

●預かり保育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・通常保育日において、保育時間終了後(14時)から17時まで預かり保育を実施している。 ・本年度より長期休暇期間(夏休み)に20日間(7時間/1日)実施をし、保護者のニーズへの対応を行っている。
●教育環境整備	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の要望を取り入れ、毎年、バスの路線経路の見直しをしている。 ・余裕教室を利用し、「課外活動(①ピアノ教室②英会話教室③体育教室)」を実施している。また、夏休みにも、サマースクールと称した、外部委託の英会話教室が実施されている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>各項目及び総合的な評価結果は、「B」評価になり、幼稚園としての役割は、果たしているという評価になった。特に「教育課程・指導」は、40年を越える教育の歴史と積み上げにより、園児、保護者等から求められている教育と保育が提供できている。</p> <p>しかし、園を取り巻く環境は、年々変化しており、保健、安全管理及び組織運営は、本園としても状況に合った対応をしてきてはいるが、近年の急速な変化に未整備になっている部分も多くある。今後は、組織的な取り組みが必要になってくる。</p>

◎「3」、「4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
<p>●学校評価、情報公開</p> <p>保護者アンケートをもとに、独自の学校評価を実施し、設置者に報告は行っていたが、学校評価ガイドラインに基づき作成する必要がある。</p>	<p>学校教育法の幼稚園における学校評価ガイドラインに基づき、自己評価及び学校関係者評価を実施し、幼稚園の運営改善を図るとともに、その結果を広く保護者等に公表する。</p>
<p>●安全管理、情報公開</p> <p>東海地震等の大規模地震対策が、具体化されておらず、実際に大規模地震が起きた場合に備え、詳細に取り決めをする必要がある。</p>	<p>大規模地震対策に備え次の項目を整備する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マニュアルの作成 ②マニュアルに沿った訓練の実施 ③施設設備の安全チェックと計画的な改善
<p>●組織運営</p> <p>園を取り巻く環境は、厳しい社会経済情勢の中で、共働き世帯が半数を超え、仕事やその他の活動と子育ての両立が主流になってきている。</p> <p>政府も待機児童の解消を図るため、平成27年4月より「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、本園も対応が求められる。</p>	<p>社会経済情勢や政府からの要求を受けた場合に対応ができるよう「子ども・子育て支援制度」の「施設型給付を受ける幼稚園」への移行準備を整えていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①現状の課題を洗い出し、計画の立案 ②設置者と協議を行い方向性を確立 ③課題への対応を状況に応じて段階的に実施